

令和5年度

がんサバイバーシップ 研究成果発表会・セミナー



参加費

無料

事前申込が
必要です

日時 令和6年2月16日(金)

開催方式 国立がん研究センター（東京都中央区築地）
研究棟セミナールームA・BとZoomを併用したハイブリッド開催

申込方法 右記のQRコードから申込フォームにアクセスできます。
またメール・電話でもお申込み可能です。記載いただいたメールアドレスへ
ご案内をお送りします。
タイムスケジュール等詳細については財団HPをご覧ください。

申込フォーム



第1部

がんサバイバーシップ 研究成果発表会

10:10~11:49

- 1. 新垣 理宣**
(東北大学病院 周術期口腔健康管理部)
がんサバイバーを薬剤関連顎骨壊死から守る
医科歯科連携および
地域連携の支援ツールの開発
- 2. 笠井 敬太**
(日本学術振興会特別研究員)
小児がん経験者のサバイバーシップ支援に
向けた社会学的研究:
経験者がサバイバーになる過程に注目して
- 3. 中谷 菜々美**
(東海大学 医学研究科先端医科学専攻)
終末期医療を受けるがん患者に対する
回想法を用いた音楽療法の開発
- 4. 平山 貴敏**
(国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科)
AYA世代がんサバイバーに対する
ePROシステムを活用したスクリーニング法の開発
- 5. 藤田 裕子**
(姫路赤十字病院 遺伝診療部)
遺伝性腫瘍のプレバイバーおよび
サバイバーに対する持続可能な支援体制の構築

第2部

がんサバイバーシップ 研究セミナー

13:05~14:55

テーマ **がんサバイバーの
情報アクセス向上を目指して**

ご挨拶 **中田 勝己**
(厚生労働省医政局研究開発政策課長)

- 1. 垣添 忠生**
(がん研究振興財団会長)
がんサバイバーと情報アクセス
- 2. 丸山 大**
(がん研究会有明病院 血液腫瘍科 部長)
血液がん治療に関する最新情報と
“患者本位の「がん情報サイト」”への期待
- 3. 柴田 大朗**
(国立がん研究センター生物統計部 部長)
各種がん情報サイトの現状と
“患者本位の「がん情報サイト」”の特色
- 4. 後藤 悌**
(NPO キャンサーネットジャパン 理事、
国立がん研究センター呼吸器内科 医長)
患者視点での臨床試験・治験について

主催



公益財団法人 がん研究振興財団

〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-8 新京橋ビル5階

後援

厚生労働省

☎ 03-6228-7297

✉ info@fpcr.or.jp